

日時・場所	令和4年2月7日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、赤坂政策調整部長、馬野政策調整部政策監、市木病院事務部長、武内総務部次長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、吉川教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

- 週末、歴史民俗博物館で開催が始まったテーマ展「近江国野洲の祇王・頼朝・宗盛伝説－伝承と地域史－」を鑑賞してきた。職員から解説も聞いて良かった。
- 本日、午後から野洲市民病院整備事業特別委員会が開催される。議員の皆さんのご意見等を拝聴したい。

2. 議題

【報告事項】

①公立大学法人滋賀県立大学と野洲市との包括連携協定の締結について

野洲市と滋賀県立大学はお互いに有する資源を活用し、まちの発展に寄与するため、包括連携協定の締結を予定している。締結後は本協定に基づき、持続可能なまちづくりに向け、連携・協力して取組を進める。

→具体的に連携や協力を求めようとする市の施策や事業はあるのか。

→例えば市の職員の研修の際、講師として派遣依頼や、地域の活性化については、学生のフィールドワークの場の提供等を想定している。また、脱炭素への取組みについてはすでに先行して行っているため、これをより進めていくということもある。

→連携・協力事項の（案）として、「市職員の育成への協力」とあるが、具体的にどういったことを想定されているのか。

→各所属で行っている事業を推進する際、関係する研修が必要となれば、大学に協議いただいて、講師の派遣を依頼すること等を想定している。

→「学生・教職員の研究活動への協力」と記載されているが、どういったことを想定しているのか、イメージできない。

→文部科学省は、地方大学が「いかに地域に貢献するか」ということに力を入れている。行政の運営は職員の方がよく知っているが、大学では、まちづくりの理論や全国の先行事例を調査し、具体的なまちづくりの手法を知ってもらう機会を作っている。

また、学生と地域、学生と企業、学生と行政をマッチング、一緒に活動することで、学生の実習にもなるし、地域、企業、行政側は新しい発想、斬新なアイデアが得られる。単に研究活動に協力するというよりは、お互いに協力しあうことで活性化に繋がるということである。具体的に何をするか、は大事である。野洲市をフィールドとして学生に活かしてほしいし、市は学生の知識やアイデアを活かす。お互いそういう交流ができれば良い。この協定がそのきっかけだと思っている。（副市長）

→駅前南口の整備のような大きな意味のまちづくりに関わってもらおうというのではなく、自治会単位のまちづくりに関わってもらおうというものか。

→対象になる事業や規模については限定しない。

②野洲市民病院整備事業特別委員会について

本日 13 時 30 分から開催される、野洲市民病院整備事業特別委員会の資料について説明する。デザインビルドのメリットデメリットが分かりづらいという声が前回の特別委員会であったので、今回は資料に表を追加した。

結論として、駅前Bブロックで病院整備は可能ということになった。

→整備構想、整備計画は二つとも評価委員会で通ったものか。

→整備構想は成案としたが、整備計画は担当課でまとめたものを最終案とし、本日の特別委員会で認められたら評価委員会に諮らせていただく。

→順番が逆ではないか。

→1月14日に開催する予定であった特別委員会が延期になり、2月7日開催予定の評価委員会も延期になったため、順序が逆になった。

→この資料は収支計画も含め駅前Bブロックで病院整備は可能ということになっている。今日の特別委員会で市長がBブロックでの整備について意見を求められた時、どう答えられるのか。

→幹部会議であるこの場で市としての意思統一をしないと、様々な事業に影響する。

→熟考するため、情報収集している最中なので、今ここで、どうするこうするということは言えない。病院を整備しないということはない。(市長)

→情報収集している最中ということであるが、最終的に承認するのは議会である。議場で執行部の提案としてBブロックで整備できるという案を出すこととなるが、市長の考えをお聞かせいただきたい。

→今日の特別委員会は、1月14日の臨時全員協議会で、議員からの「Bブロックでのこれまでの成果物を出してもらわないと判断できない」と言われたことを受け、開催されることになったと解釈している。今日はこれまでの成果品を報告させていただいて、議員の皆さんに判断いただく場だと私は認識している。(市長)

→執行部からこれを説明するという事は、市長も合意の上で提案していることになる。

→成果物を報告する、と議会には申し上げている。(市長)

→成果物の目的は、もともと発注するのはBブロックで病院が整備できるかどうかということであった。

→Bブロックで整備が可能かどうか精査するために発注し、課題がある中で進んできている。そういう形で今日は出させていただきます。(市長)

→政策調整部の考えは。

→Bブロックで病院を整備するために基本構想、基本計画を作ったので、それを本日説明する、と認識している。政策調整部は、ACブロックで複合商業施設、Bブロックで病院整備、という考え方で進めていたが、市長が熟考されていることから保留している。そのような中で病院について説明を行うということである。

→市長と幹部は意思統一していかないといけない。熟考の結果を早いうちに示していただきたい。(副市長)

→政治家として、40年50年先の野洲市のことを考えての熟考である。考えが決まれば、部長会議でお示しさせていただきます。今しばらくお時間をいただきたい。(市長)

→我々は市長と考えを一つにしてやっていきたい、という思いがある。熟考というのわかるが、早く結論を出し、納得できる説明をしていただき、一つになってやっていきたい。

③令和4年第1回野洲市議会定例会提出議案（案）について

専決処分1件、新年度予算10件、補正予算5件、条例制定・改廃14件、その他3件、人事案件2件を提出する。このうち、条例制定の2件については、2月1日に閣議決定したため、庁議に諮られていない。このため、今週中に各部長宛てに条例シート等資料を送付する。

④野洲市債権管理条例に基づき放棄した債権について

野洲市債権管理条例（以下「条例」という。）第8条の規定により市の私債権を放棄したので市議会に報告する。

令和4年1月18日開催の令和3年度第1回野洲市債権管理審査会での審査により、提案債権すべてが条例第7条の規定に基づき放棄すべきものと決したことから、これらの債権を放棄した。当該放棄債権については、令和3年度に債権所管課で不納欠損とする予定である。

⑤第11次野洲市交通安全計画（案）に係るパブリックコメントの結果について

令和4年1月5日から令和4年1月25日に実施した第11次野洲市交通安全計画（案）に係るパブリックコメントの結果について、1名から1件の意見があったので報告する。

⑥令和4年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家入所・入園申込状況について

令和4年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家入所・入園申込状況について報告する。

⑦令和4年度定員を超過する北野こどもの家の運営について

北野こどもの家（学童保育所）の令和4年度入所申請状況は265人となり、定員及び野洲市こどもの家管理運営規則第4条第2号に基づく最大受入可能数を超過している。校舎の構造や学校運営への影響を基準に、過去にも季節保育の定員超過時に借用した経緯のある北野小学校音楽室等の通年利用の可能性を学校の協力を得て検証したところ、総合的に支障がないものと判断した。このため、令和4年度以降の北野こどもの家については、通年利用時の放課後及び季節利用時ともに音楽室（第1・第2）を使用した保育を行う。

→職員も増員するのか。

→増員する。これに伴う予算も計上している。

⑧新型コロナ要援護在宅療養者等への食料等配送事業について

感染急拡大や入院基準の厳格化により在宅療養者が増加していることから、市内の在宅療養・在宅待機者のうち近隣に支援者がおらず、かつ、自身も家族も買い物に行けない人などを対象に新型コロナ要援護在宅療養者等への食料等配送事業を実施する。

→商品注文が月・水・木曜日となっており、金曜に感染が判明すると週末を挟み、日数が空いてしまう。人手の問題で難しいと思うが、もう少し手当できるよう検討してはどうか。

→意見として承る。

⑨令和3年度保育園（所）・幼稚園・小学校・中学校卒業（園）式・令和4年度入学（園）式日程（予定）について

令和3年度保育園（所）・幼稚園・小学校・中学校卒業（園）式・令和4年度入学（園）式日程の予定について報告する。なお、今年度の卒業式、卒園式、来年度の入学式、入園式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者を縮小して実施する。来賓の出席についても依頼しない。

⑩全員協議会への提出事項について

令和4年2月17日(木)開催の全員協議会に報告事項13件、連絡事項4件を提出する。

3. その他伝達事項

(市民部)

○本日、県で滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催される可能性がある。その内容によっては、明日にでも市の対策本部会議を開催する。

4. 次回部長会議の予定

2月14日(月) 13時30分～ 庁議室

5. 閉会